

【和光市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

デジタル学習基盤を活用し、誰一人取り残さない「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指し、これまでの実践的な教育とあわせて、授業支援システムの有効活用、情報推進アドバイザーによる授業支援を受けながら、ICT 端末を「調べ学習をする場面」「児童生徒同士がやりとりする場面」及び「振り返りの場面」等で活用できる姿を目指す。

2. GIGA第1期の総括

・1人1台端末の整備

和光市においては令和2年度末にICT 端末の整備を実施し、令和3年度には児童生徒全員がICT端末を利用できる環境整備を行った。

・ICT 端末の授業等での利活用の推進

GIGA 第1期において和光市では、情報教育推進計画により「知る・触れる」・「使ってみる」・「慣れる」と段階を設定し、ICT 端末の利活用の推進に取り組むことができた。

また使用頻度についても「各クラス1日2～3回の実施」を目標に掲げ、ICT 端末の活用を推進するとともに、ICTを活用した公開授業等を実施し、取り組んできた。

その他にもICT 環境の整備及び授業支援システムの導入により、授業や学校公開等のオンライン実施において効果を感じている。

・児童生徒の情報活用能力の育成・情報モラル教育の充実

ICT端末の利活用の推進により、児童生徒が情報を得る、情報を整理・比較する、得た情報を分かりやすく発信するなどの情報活用能力が飛躍的に向上した。

・課題

(1) 回線の遅延

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、安定した通信帯域を確保できるよう、ネットワーク環境の改善を進めていく。

端末のスペックについてもCPU等を考慮し、検討・改善を図る。

(2) 特別教室等、GIGAスクール端末が十分に活用できない場所がある。

必要な場所へのアクセスポイントの設置により、GIGAスクール端末を活用できる場所を増やす。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第 2 期へ向けて十分な予備機を含め、端末を適切に更新し、1 人 1 台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように ICT 活用を推進していく。

(1) 1 人 1 台端末の積極的活用

「1 日に 2 時間以上の授業活用、授業外での 1 日 2 回以上の活用」を目指し、さらなる授業改善等に取り組んでいく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

端末を利活用した学習課題への取組により、理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。また「調べる」「発表・共有する」「考えを比べる・まとめる」「振り返る」といった授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

(3) 「学びの保障」

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じて端末を活用した支援を実施できるよう、授業配信に加え、学習支援アプリの活用等で学びに向けた支援を行う。